


平成31年度 都立学校・学校経営シート

校章	 都立荻窪高等学校 定時制課程 未来を切り開く三部制高校 規範意識と社会性を育成し希望進路を実現 －社会人としての自覚と自信を育て、学力を伸ばし自己を向上する力を育てる－			進路	実績	績大	22.8%	短期大	1.6%	専門学校	33.9%	就職	22.7%	その他	19%									
				基	特	徴	入学から卒業までの系統的な進路指導と資格取得を奨励し、希望進路の実現を目指す。																	
基	所在地			〒167-0051 杉並区荻窪五丁目7番20号			電話番号			03-3392-6436			基			主な部活動			バスケットボール・バレーボール・バドミントン・卓球の各部が定通全国大会へ出場。陸上競技・野球・テニス・軽音楽・演劇・吹奏楽・漫画研究・美術等27の部活動が活					
	アクセス			(1) JR中央線、荻窪駅下車 南口より徒歩5分 (2) 東京メトロ丸ノ内線、荻窪駅下車 南口より徒歩5分 (3)			本			学校評価			学校生活満足度:生徒71%、保護者74%、授業満足度:生徒75%、保護者82%											
本	学 科			普通科			入			募集人員			前期:1学年相当(1部54人、2部54人、3部36人)144人 後期:1学年相当(1部41人、2部41人、3部46人)128人 (いずれも男女問わず)											
	在 籍 数			652人(男子304人、女子348人)[1部262人(男子117人、女子145人)、2部263人(男子106人、女子157人)、3部127人(男子81人、女子46人)]			情			選 抜			部 募集区分			29年度 30年度 31年度								
情	教育課程の 特 徴			単位制、3年修業制度のある3部制(昼夜間定時制)、45分授業			報			應 倍 募 率			分割前期			1部 1学年相当 1.56 2.39 0.93 2学年相当以上 0.00 0.00 0.17								
	ホームペー ジ			http://www.ogikubo-h.metro.tokyo.jp			自 律 経 営 推 進 予 算			31年度(単位:万円) 2,373			分割後期			1部 1学年相当 1.22 0.72 0.80 2部 1学年相当 1.53 0.65 0.61 3部 1学年相当 0.75 1.08 0.11								
報	そ の 他			高大連携(成蹊大学)			校 服			標準服			上着ブレザー(紺) ズボン、スカート(チェック)			報			そ の 他 の 特 徴			前期:学力検査と調査書の割合7:3、集団面接 後期:学力検査と調査書の割合6:4、集団面接		
	目 指 す 学 校			生徒に規範意識と社会性を身に付けさせ、社会人としての自覚と自信をもたせることができる学校を目指す。入学から卒業までの体系的なキャリア教育に基づき、自立した社会人の育成を目指すとともに、地域社会とも連携して様々な教育力を活用することで、多様な生徒の進路実現と自己実現を図る。																				
今年度の重点目標						今年度の取組と自己評価																		
目 標 ①	生徒の希望進路の実現を図る 進路ノートを活用して系統的なキャリア教育を行い、生徒が進路選択を主体的に行えるように支援するとともに、自己の在り方・生き方について考えさせる。基礎力診断テストや進路適性検査等を活用し、生徒が個々の課題を把握して、より効果的に自己実現を図ることができるようにする。卒業時の進路決定率80%以上を維持し、未決定者は支援先へつなげる指導を行う。					○進路決定率は85.4%を達成(3卒生86.3%、4卒75.0%)。例年より4年次の決定率を上げることができた。 ○自立支援チーム等との連携で就労支援も成果をあげた。日本語を母語としない生徒の進路開拓が課題。 ○情報系検定で都1位の成績をあげた生徒が都知事賞を受賞。英語検定では「4技能」に対応する事前指導を実施。インターンシップでは新たに成果発表の場を設定し、表現力育成を図った。 ○ポータルサイト機能を追加した本校「進路ノート」の活用により、新調査書や多面的評価入試への対応を進めている。今後は「探究」的学びの推進とその蓄積による「総合型選抜」への対応力育成が課題となる。																		
目 標 ②	規範意識の育成と社会性の向上を目指す 「時間を守る」「挨拶をする」「ルール・マナーを守る」ことを基本として捉え、授業規律指導、遅刻指導、頭髪指導、身だしなみ指導、マナー指導、挨拶指導、清掃指導等を実施し、全教職員が組織的に規範意識の育成と社会性の向上を目指した指導を行う。					○問題行動の特別指導件数の減少傾向が継続。教育相談部やスクールカウンセラーと連携した「個に応じた指導」も進んでいる。 ○儀式的行事や集会等における「マナー指導」に成果が見られる。「頭髪指導」「身だしなみ指導」に更に組織的に取り組む。また、「遅刻」防止への指導により、生徒に基本的生活習慣を身に付けさせることが課題。校内の器物破損行為はほとんど見られない。 ○授業規律指導に加えて校内巡回による授業時間中の徘徊・中抜け防止指導を行った。																		
目 標 ③	校内の自立支援・教育相談機能の充実 自立支援チームやスクールカウンセラーを活用した教育相談の充実を図るとともに、外部機関とも連携を推進し、生徒一人一人の状況に応じた自立支援を適切かつ組織的に行う。また、特別支援教育の視点をも取り入れた校内の教育相談機能の充実を図るとともに、外部機関とも連携し、個に応じた適切な指導を組織的に行う。					○週に1回、課題のある生徒の情報共有と指導方針を確認する会議を教育相談部、1・2年次主任、管理職参加で実施した。また、外部機関と連携したケース会議も効果的に開催できている。 ○スクールカウンセラー、ユースソーシャルワーカーと効果的に連携し、学習指導・生活指導・進路指導に「個に応じた指導」の視点を取り入れている。教育相談部による研修も計画的に実施し、学校全体の生徒理解力、指導力を高めている。 ○「中途退学の未然防止」「不登校生徒への支援」等の課題への取組を今後更に充実させていくことが課題。																		
数 値 目 標	今年度の数値目標の内容					28年度		29年度		30年度		今年度		32年度	33年度	34年度								
	目 標 ①	進路決定率80%以上の維持を目指す。				目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標								
	目 標 ②	不読率8%未満を目指す。				75%	75.4%	77%	79.6%	80%	81.0%	82%	88.1%	83%	84%	85%								
	目 標 ③	授業規律遵守93%				25%	59.0%	25%	8.3%	8%	63.3%	8%	60.0%	8%	8%	8%								

